

(リスクアセスメント) 伐採 作業手順書

会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	主な設備、仕様機械	トラック、パッカー車、クレーン付トラック	主な使用工具、器具	チェーンソー、プロア	安全設備、保護具	ヘルメット、耐切削手袋、安全靴、安全チョッキ、保護兜ネ、フェイスシールド、マスク、チャップス	使用材料	
作成日	令和7年5月29日		連絡車				しらすんだー受信機、離隔保持板		
改訂日			高所作業車		墜落制止用器具				
作成者	野尻								
必要資格等	運転免許(普通・準中型・中型)、チェーンソーによる伐木等特別教育、職長教育					作業人員	5~8名		
備考	クレーン使用時は、移動式クレーン作業計画書に基づき作業を行う。							その他	パッカー車のスイッチ操作専門要員の配置 腕装着又はヘルメットに明示

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	危険要因			危険有害要因低減対策	誰が			対策後			参 考 図 (写 真 等)
				可能性	重大性	評価		点検・確認	可能性	重大性	評価			
準備工	1	新規入場者のチェックをする	現場、施工方法等について十分な知識を有していない	2	1	2	新規入場者教育の受講	職長	1	1	1			
	2	健康状態を確認する	体調不良、飲酒等により正常判断が出来ない	2	1	2	体調の確認、アルコールチェックを行い記録する	職長	1	1	1			
	3	服装、保護具、保安用具の点検をする	しらすんだーの故障、高視認性作業服の視認性不良、保護スポン手袋の劣化	2	1	2	点検を実施する	全員	1	1	1			
	4	機械・工具等の点検をする	機械、工具が誤作動、現場にて稼働しない	2	1	2	機械、工具の連結部などボルト等の緩み、始業前点検を行う	全員	1	1	1			
	5	朝礼、KYミーティングを行う	漠然と現場に入り事故を起こす	2	1	2	KYミーティングにて危険箇所等を確認する	全員	1	1	1			
	6	作業手順の確認をする	各自の作業が不明確で不安全行動を起こす	3	2	6	各自の作業内容、作業手順を確認する	全員	1	1	1			
	7	規制協議書の確認	協議書通りの規制でない	1	1	1	規制協議書、作業内容の確認	全員	1	1	1			
	8	車両点検、荷姿チェックをする	積荷の飛散、スベアタイヤ、敷板の落下	2	3	6	ロープの確認、飛散防止対策、荷姿チェックを乗車員と確認	乗車員	1	1	1			
移動	1	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	3	9	法定速度、十分な車間距離の確保	運転手、助手	1	2	2			
	2	高速道路に入る前にプレート区間の確認	プレート区間外使用、不正使用	2	1	2	通用区間、プレート、車番を確認する	運転手、助手	1	1	1			
	3	休憩施設の駐車マスの待機する	歩行者、通行車両との接触	1	2	2	施設から離れた場所に駐車する	全員	1	1	1			
	4	規制進入時は保安員の指示で進入する	一般車の追突、規制内への誤進入	3	1	3	保安員は適切な誘導を行う	保安員	1	1	1			
	5	現場到着後は歩行者、通行車両に邪魔にならない様に配置して駐車する	歩行者、班員、通行車両、工事用車両との接触	1	3	3	保安員、班員の指示に従う	全員	1	1	1			
	6	車両はハンドル切、サイドブレーキ、輪止めを必ずする	車両が自走して、他に接触する	1	3	3	目視で確認、指差呼称を行う	全員	1	1	1			
	7	規制内、駐車場内での移動	工事用車両、作業員、保安員、構造物との接触	2	2	4	車両移動時は保安員、班員の指示に従う	全員	1	1	1			
本作業	4	伐採作業	手足等の切削	2	3	6	必要に応じて、耐切削手袋を着用する	作業員	1	2	2			
		〃	目に木屑等が入る	3	1	3	保護眼鏡(シールド)を使用	全員	1	2	2	【セーフティーバイブル】		
		〃	伐採木、枝等による接触	1	3	3	作業間隔の保持、周囲確認、声掛け	作業員	1	2	2	・全体編【WH-11】耐切削手袋		
		〃	伐採木、枝等による一般通行帯への飛散	1	2	2	一般通行帯に何も無い事を確認、保安員の合図	全員	1	1	1	・全体編【WH-16】ケープ防護対策		
	5	伐倒方向に受け口、反対側に追い口をつくり、伐倒	伐倒による怪我、障害物等の損傷	2	3	6	伐倒方向の確認	切り手	1	2	2	・全体編【WH-27】墜落制止用器具		
		〃	〃	2	3	6	伐倒範囲に人、物、ケープ等、障害物がない事の確認	切り手	1	1	1			
		〃	〃	2	3	6	その他の樹木、障害物等があった場合は伐倒方向に対してロープ、テルホール等を使用	作業員	1	1	1	・作業編【WO-01】敷板(ジャッキベースの格納)		
		〃	〃	2	3	6	チェーンソー使用する前に、伐倒範囲に障害物等が無いか、再度確認	切り手	1	1	1	・作業編【WO-02】敷板の使用		
		〃	〃	2	3	6	チェーンソー使用する際は、必ず両手で保持し、肩より上部で作業をしないこと	切り手	1	1	1	・作業編【WO-03】車両本体の設置方向		
		〃	〃	2	3	6	伐倒時は合図を行う	切り手	1	1	1	・作業編【WO-04】前後輪留め設置		
		〃	〃	2	3	6	一気に切るのではなく、伐木の状況を監視しながら伐倒する	切り手	1	1	1	・作業編【WO-06】風速計		
		〃(側道での作業)	〃	2	3	6	通行車両・通行人が通るときは作業中止し通過させる	全員	1	1	1	・作業編【WO-09】上空監視員の配置		
	6	クレーン付トラック、高所作業車を使用して伐採	クレーン付トラックが転倒	1	3	3	敷板を必ず設置、軟弱地盤であれば鉄板等を敷く	作業員	1	1	1	・植栽編【PL-05】スイッチ操作者		
	〃	吊荷が落下、吊荷が振られて作業員と接触	2	3	6	玉掛け後の地切りを確実にを行い吊荷が振れないことを確認する	玉掛作業員	1	1	1	・植栽編【PL-06】連続スイッチカバー			
	〃	吊荷が他の樹木と接触し、枝等が通行帯へ飛散する	2	3	6	合図による慎重な操作を行う	操作者	1	1	1	・植栽編【PL-07】投入口離隔保持板			
7	伐木を回収しやすい長さで切る	切った丸太が落下、予想外の方向に傾き作業員に接触	2	3	6	法面や傾斜に注意して又、必要に応じて二人作業(介助)で行う	作業員	1	1	1	・植栽編【PL-08】作業間隔保持			
8	発生材を法面等から搬出する	上下作業による作業員の接触	1	3	3	作業間隔の保持、周囲確認	作業員	1	1	1	・植栽編【PL-09】上下作業の禁止			
	〃	目に木屑等が入る	3	1	3	保護眼鏡(シールド)を使用	全員	1	1	1				
	〃	剪定枝等による接触	1	3	3	作業間隔の保持、周囲確認、声掛け	作業員	1	1	1				
	〃	剪定枝等による一般通行帯への飛散	1	3	3	一般通行帯に何も無い事を確認、保安員の合図	作業員	1	1	1				
9	パッカー車へ積込(巻込まれ防止板)の設置	防止板設置時に手を詰める	1	2	2	機械操作を確実に停止したことを確認する	作業員	1	1	1	・パッカー車作業手順書に準じて作業すること			
	〃	巻込まれる	1	3	3	フォーク等で発生材を積み込む	作業員	1	1	1				
	〃	〃	1	3	3	スイッチマンを選任する	作業員	1	1	1				
	〃	〃	1	3	3	連続運転スイッチを切る	作業員	1	1	1				
	〃	〃	1	3	3	手元の確認	作業員	1	1	1				
片付け	1	路面清掃	プロアでの飛石	1	2	2	風の方向、プロアの吹く方向、エンジンの強弱に注意	作業員	1	1	1			
		〃	目に屑等が入る	1	2	2	保護眼鏡(シールド)を使用	作業員	1	1	1			
		〃	荷の落下	2	3	6	荷姿の確認	作業員	1	1	1			
		〃	〃	2	3	6	荷遣りロープ、飛散防止シートかネットを必ず使用	作業員	1	1	1			
		〃	〃	2	3	6	飛散しそうな軽い物等は社内に格納	作業員	1	1	1			
	2	作業車両の離脱	歩行者、班員、通行車両、工事用車両との接触	1	3	3	保安員、班員の指示に従う	全員	1	1	1			
	〃	工事用車両、作業員、保安員、構造物との接触	2	2	4	車両の移動時は運転手からの合図、保安員、班員の指示に従う	全員	1	1	1				